

## 沖縄防衛局職員が侮辱発言

米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）の名護市辺野古への移設工事をめぐり、防衛省沖縄防衛局の非常勤職員の男性が、移設に抗議する市民に対し、「あちがい」などと侮辱する発言をしたことが分かった。防衛局は取材に発言内容を認め、「不適切な発言だった。大変遺憾」と述べた。

発言があったのは、辺野古での埋め立て工事に使う土砂が搬出される本部港（沖縄県本部町）。6日午後2時頃、男性（59）が3人で土砂を積んだダンプカーの前をゆっくり歩く抗議行動をしていたが、港内にいた防衛局職員に

拡声機で言われた。その後、同じ職員が「通行妨害はやめしてください」「常識もわからんね」「向ういけ」と発言したという。

港は、沖縄本島東海岸にある辺野古の反対側の西海岸にある。周辺で採取した土砂を港から船で辺野古まで運んでおり、市民が工事を遅らせるために抗議を続けている。港では警備員のほか、防衛局職員らも対応している。

防衛局は「職員に対し適切な警備活動を行つよう指導を徹底するとともに、事実関係を確認のうえ、適切に対処する」とコメントした。  
(伊藤和行)

## 辺野古移設抗議の市民に